

地震時の 通電火災にご注意

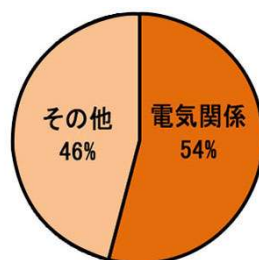


○地震が引き起こす電気火災とは？

地震の揺れで倒れた家具の下敷きになった家電製品や、傷ついた配線が停電から復旧した際に再び電気が流れることで電気火災が発生します。

○過去の大規模地震における電気火災

東日本大震災での本震による火災のうち原因が特定されたものの過半数が電気関係の出火だった。



〈参考〉内閣府「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会」

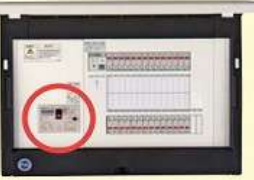


○電気火災対策には感震ブレーカーが効果的です！

感震ブレーカーとは、一定以上の揺れを感知した際に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。

不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

【感震ブレーカーの種類】

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円（標準的なもの）	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

（注）住宅分電盤の種類に適した製品をお選びください。



感震ブレーカーを設置して
電気火災から「家」・「地域」を守ろう。

【この資料に関する問い合わせ先】

経済産業省商務情報政策局商務流通保安グループ電力安全課
〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号
TEL (03)-3501-1742
経済産業省ホームページ
http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2015/10/270105-1.html
内閣府ホームページ
<http://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/denkikasaitaisaku/index.html>



内閣府



消防庁
Fire and Disaster Management Agency



経済産業省

2015年11月版

○感震ブレーカーの設置に際しての注意

- ・急に電気が止まっても困らないための対策と合わせて取り組むことが必要です。
- ・生命の維持に直結するような医療用機器を設置している場合、停電に対処できるバッテリー等を備えてください。
- ・夜間の照明確保のために、停電時に作動する足元灯や懐中電灯などの照明器具を常備しましょう。

※消防署では、感震ブレーカー等の販売は行っておりません。

詐欺等に注意してください。



《参考動画》

総務省消防庁 『今、備えよう。大規模地震時における電気火災対策』

